



東証一部上場

証券コード
4346



平成18年3月中間期決算説明会 ～財務編資料～

平成18年6月5日

◆今期 第1四半期業績の一部訂正

◆業績予想の修正

◆平成18年3月中間期の実績

◆シンセティックESOPの概要

◆内部統制システム構築の基本方針

今期 第1四半期決算の一部訂正

◆経緯

ネクシィーズ単体の事業としては、従来より、業務受託型でのテレマーケティング事業を行っており、この場合1ブース当り毎月一定額の業務受託料を受け取っておりました。
今期に入り、当社子会社であるNexyz.BB社が主要クライアントとなり、今第1四半期におきましては、従来と同様に当該業務受託料についても売上として計上しておりました。



◆訂正理由

当該売上はグループ内部において発生したものであり、売上として認識するのは馴染まないと当社の会計監査人より指摘を受ける。
よって、今第1四半期の業績からは売上計上を除外し、子会社のために負担した原価を控除。

(単位:千円)

	訂正前		訂正後
売上高	1,308,384	⇒	612,384
売上原価	673,145		164,476
販管費	511,192		385,673
営業利益	124,046		62,233

業績予想の修正

◆平成18年9月期 連結業績予想の修正(平成17年10月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	5,500	△3,000	△3,750
今回修正予想(B)	5,000	△3,800	△4,900
増減額(B-A)	△500	△800	△1,150

◆平成18年9月期 個別業績予想の修正(平成17年10月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	3,000	1,000	600
今回修正予想(B)	2,000	450	150
増減額(B-A)	△1,000	△550	△450

平成18年3月中間実績

(単位:百万円)

中間連結貸借対照表			
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
【流動資産】	7,058	【流動負債】	2,543
現金及び預金	4,271	買掛金	560
売掛金	746	短期借入金	85
有価証券	999	一年内返済予定の長期借入金	469
たな卸資産	213	一年内償還社債	620
繰延税金資産	316	未払金	598
その他	510	未払法人税等	79
		解約調整引当金	105
【固定資産】	4,149	その他	25
(有形固定資産)	1,812	【固定負債】	1,703
レンタル資産	261	社債	1,580
工具器具備品	829	長期借入金	87
その他	721	その他	36
(無形固定資産)	622	負債合計	4,246
連結調整勘定	416	少数株主持分	
その他	206	少数株主持分	126
		資本の部	
(投資その他の資産)	1,714	資本金	4,653
投資有価証券	331	資本剰余金	4,439
敷金・保証金	545	利益剰余金	△ 2,274
繰延税金資産	651	その他有価証券評価差額金	17
その他	193	自己株式	△ 1
貸倒引当金	△ 7	資本合計	6,835
資産合計	11,208	負債、少数株主持分及び資本合計	11,208

(単位:百万円)

中間連結損益計算書(要約)		
科目	金額	
売上高		
テレマーケティング事業	1,015	
その他マーケティング事業	27	
プロモーション事業	538	
継続収入	817	
その他収入	9	2,407
売上原価		2,594
売上総損失		△186
販売費及び一般管理費		
運賃	40	
販売促進費	174	
広告宣伝費	31	
給与手当	237	
通信費	40	
賃借料	395	
その他	935	1,856
営業損失		△2,043
営業外収益		25
営業外費用		157
経常損失		△2,175
特別利益		0
特別損失		876
税金等調整前中間純損失		△3,050
法人税、住民税及び事業税	76	
法人税等調整額	18	95
少数株主損失		△10
中間純損失		△3,135

財務状況および今後の戦略

◆上半期の財務戦略

返済期限の迫っていた
長期借入金
1,325百万円(14.4ヶ月)



長期の社債に借換え
1,500百万円(34.1ヶ月)

◆三井住友銀行とリボルビング・ファシリティ契約締結

- ・契約締結日：平成17年10月25日
- ・契約期間：5年間

20億円の借り入れ枠を設定 ⇒ Nexyz.BB事業の進捗にあわせて実行する予定

◆キャッシュポジション

5,271百万円

◆流動比率

流動資産
7,058百万円

流動負債
2,543百万円

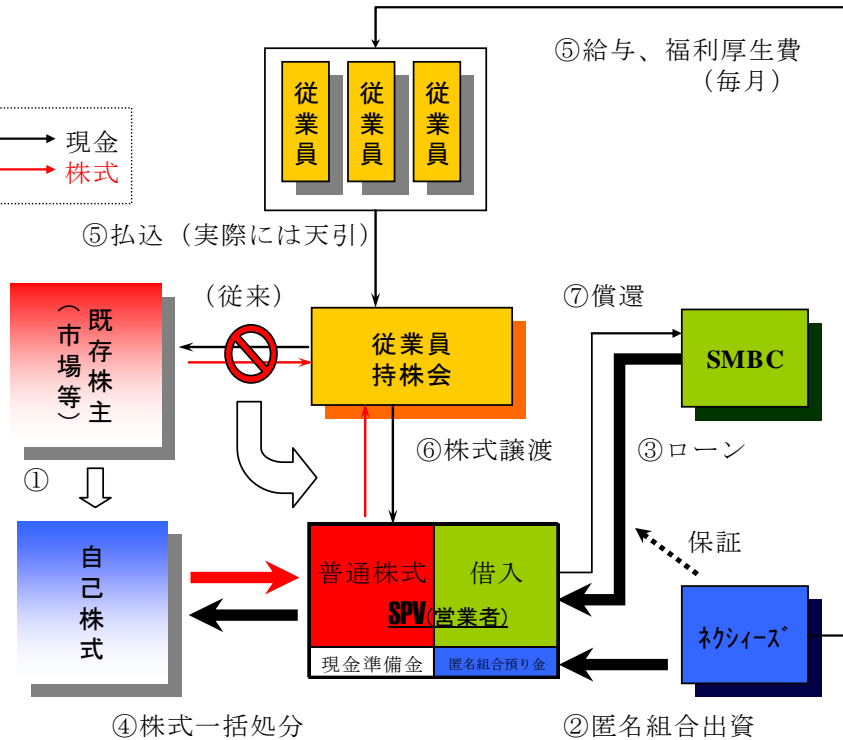


流動比率
277.5%

シンセティックESOPの概要

【三井住友銀行アレンジによるシンセティックESOPを平成18年度中に導入】

◆スキーム図



◆今後の流れ

- ①市場買付等により自己株式を取得。
- ②SPVに対し、匿名組合契約に基づく出資を行う。
- ③三井住友銀行は、SPVに対しローンを実行。
- ④SPVに対し、自己株式を時価で一括して処分。
- ⑤従業員持株会は、毎月、SPVから時価で株式を購入。
- ⑥SPVは、従業員持株会から支払われた株式売却代金をもって、三井住友銀行に対するローンを返済。

従業員持株会に対する
長期的かつ安定的な
株式の供給

・従業員の議決権の強化
・コーポレート・ガバナンス
体制の充実

・着実な株主価値の向上
・企業運営の安定性

内部統制システム構築の基本方針

- 1、取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- 2、取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- 3、損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- 4、取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- 5、当該株式会社並びにその親会社及び子会社から成る企業集団における
業務の適正を確保するための体制
- 6、監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に
関する事項並びにその使用人の取締役からの独立性に関する事項
- 7、取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制、
その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制